

第65回 教学研究会 開催案内

〈つながり〉を問い直す ―信心のありか、そのゆくえ―

教学研究所では、本教信仰の現状や全教が当面する諸問題をめぐって、教学研究の課題意識と全教の問題意識との対話を行い、教学的課題の明確化と研究内容の充実を図るべく、教学研究会を開催してきています。この度の研究会では、個々の研究者による研究発表に加え、標記のテーマにて全体会を開催します。

＊

私たちは今日、かつてないほど互いに「接続」された時代を生きていると言えます。技術的な進歩にとどまらず、今や誰もが手軽に他者と結びつく環境が日常に浸透しています。しかしその一方で、現代はしばしば「分断の時代」とも呼ばれます。それは、容易に接続できるがゆえに、知らず知らずのうちに似たような価値観が支配する空間・関係性の中に埋もれ、考えや文化の異なる他者との隔たりをかえって際立たせてしまう、現代特有の状況を表しているのでしょう。

ただ、私たちはそこで少し立ち止まってみる必要があります。多様な差異が可視化された現在の状況を、性急に悪しき分断と悲観する必要はないのかもしれない。これまで見えにくかった差異が浮き彫りになり、私たちがその現実直面しているのだとすれば、手軽な接続が生活のインフラとして根づきつつある今こそ、生身の他者と出会い、関係を築いていく本質的な「かかわり（コミュニケーション）」は、むしろこれから始まる段階にあるとも言えるからです。

教内においてはこれまで、「あいよかけよ」や「神人物語」という言葉で象徴的に語られてきたように、私たちは信心に関わって、神と人、人と人との〈つながり〉を重んじてきました。しかし、それが限られた認識枠組みに留まるものであったならば、改めて根本からそのあり方を問い直していく局面を迎えていると言えるでしょう。では、そのために今、いかなるアプローチが求められているのでしょうか。

これまで、とかく信心は個々人の内面的な領域に属するものと考えられがちでした。しかし教祖の生涯や先人たちの歩みを振り返るとき、信心は神と人、人と人との関わり合いや、具体的な生活・社会という「場」の中に立ち現れ、育まれてきたといえます。であれば、〈つながり〉の問い直しは、個々人の意識の問題だけでなく、「関わり」や「場」の捉え返しとして「果たして私たちの信心はどこにあるのか」と問いかけていくことにあるのではないのでしょうか。

そこで本年度は標記のテーマを掲げ、信心や社会、世界、人間の捉え方を見つめ直していく手がかりを得るべく、講演と全体での討議を行います。講演では、効率主義や過度な自己責任を強いる現代の経済システムに対し、「分かち合い、助け合い」を基盤とする「社会的連帯経済」の可能性を探求されている斎藤文彦先生（本所嘱託・龍谷大学）を講師にお招きし、研究の背景や現代社会・本教信心をめぐる問題提起を頂きます。続いて、国際センター次長の藤本拓也氏（元本所所員）と教団史研究の山田光徳所員がコメントを行い、全体討議を通じて上記の問題に迫りたいと思います。

第65回教学研究会日程表

6月19日（金）

午前 —金光北ウイング やつなみ（南・北）ホール—

時間	A会場 —南ホール—	B会場 —北ホール—
9:30	〈受付開始〉（エントランス）	
10:00	〈開会式〉 御祈念・所長挨拶・事務連絡 （A会場 —南ホール—） *開会式終了後、発表会場設営	
A、B会場に分かれての〈個別発表〉：各30分（質疑含む）		
10:20	① 濱田裕太郎（助手） 信仰における金光大神事蹟の位置（仮）	① 森定展開（助手） 明治期の本教における 事業トラブルの顛末とその意味
10:50	休憩（5分）	
10:55	② 堀江道広（所員） 金光萩雄の「金銀出入帳」について	② 須寄真治（所員） メディアをめぐる経験の諸相とその意味 —昭和50年代を中心に—
11:25	休憩（5分）	
11:30	③ 白石淳平（所員） 維新期の動乱と金神のあらわれ —岡山城下の様相に注目して—	③ 高橋昌之（所員） 東日本大震災と本教の神観・救済観 —教義の価値付けを問い直す—
12:00	昼食休憩（60分）	

午後 —金光北ウイング やつなみ南ホール—

〈全体会〉〈つながり〉を問い直す — 信心のありか、そのゆくえ—	
13:00	趣旨説明（須寄）
13:10	〈講演〉60分 斎藤文彦（囑託・龍谷大学） 奪い合いの経済からあいよかけよの経済へ —社会的連帯経済の可能性—
14:10	休憩（10分）
14:20	〈コメント〉各20分 ①藤本拓也（赤羽・国際センター） ②山田光徳（所員）
15:00	休憩（20分）※質問用紙記入
15:20	〈全体討議〉（90分）
16:50	〈閉会式〉 所長挨拶・御祈念（全日程終了予定・17時00分）

オンラインでのご出席方法について

○Zoomの利用について

- ・利用する端末に、事前にZoomアプリをインストールしておいてください。Zoomアカウントの作成は不要です。
- ・ハウリング防止のためにイヤホン・ヘッドホンおよび外付けマイクの使用を推奨します。
- ・マイクが周辺の環境音を拾うことがあるため、なるべく騒音のない静かな場所からご参加ください。

○本研究会ミーティングルームへの入室について

- ・前日までに、入室に必要な「入室用URL」と「パスコード」を記載した招待メールを個別E-mail宛にお送りいたします。Zoomからの入室は、その内容に従ってお願いいたします。

○個別発表について

- ・このたび、個別発表の配信はいたしません。

*

- ・当日の接続不良等の不具合には十分なサポートができない場合がございます。あらかじめお含みおきください。
- ・その他ご不明な点等ございましたらお気軽にお尋ねください。

金光教教学研究所E-mail : kyogaku.secretary@gmail.com